

広報

急流と鍾乳洞の里「球磨村」
Kuma Village Public Relations

くまむら

12

2016.12 No.289

いただきます！

フォトリポート

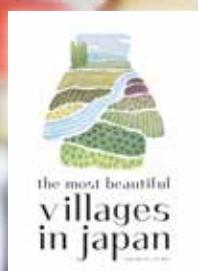
エメラルドグリーンウォーク

球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会

球磨郡市広報紙研究協議会合同特集

家族をつなぐふるさとの味

必勝合格祈願ノ旅ツアー



球磨村は
「日本で最も美しい村」連合
に加盟しています

エメラルドグリーンウォーク

エメラルドグリーンウォークが11月23日、くま川下り発船場から球泉洞までの約12kmのコースで行われ、約300人の参加者が紅葉した山々や翡翠色に輝く球磨川を眺めながらウォーキングを楽しみました。

くまモン体操で体をほぐした参加者たちは、くまモンと球磨太郎に見送られながらくま川下り発船場をスタート。コース途中の鵜口観音堂や一勝地駅、柴立姫神社では、地域の皆さんによるおもてなしがあり、一勝寺では、紅葉したもみじやイチヨウが舞い散る中、小川量さんによるハーモニカ演奏が披露され、参加者たちの疲れを癒しました。ゴールの球泉洞では、お楽しみ抽選会があり、歩き疲れた表情の参加者も村の特産品などが当たると、笑顔で喜んでいました。



1 外で食べるお弁当は最高
2 一勝地阿蘇神社で道中の安全をお参り
3 ウォーキングの前にくまモンと一緒にくまモン体操
4 くまモンと球磨太郎に見送られてスタート
5 コースの途中、鵜口観音堂でのおもてなし
6 ゴールの球泉洞でお楽しみ抽選会
7 小川量さんによる癒しのハーモニカ演奏

* Monthly Pick Up Topics *

子どもは地域の宝です

出生児祝金支給

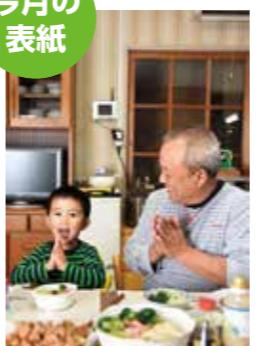


出生児祝金の支給を受けた6人の保護者

7月～10月の間に出生した児童の保護者6人が12月1日、役場村長室を訪れ、柳詰村長より出生児祝金が支給されました。

村では、村の定住人口の増加と若者の定住促進を図るために、出生児1人につき祝金として10万円を支給しています。柳詰村長は「子どもは地域の宝。村では子どもを産んで育てやすい環境づくりを推進している。子育てをする皆さん方から要望があればぜひ出していただきたい」と話しました。村の本年度の出生者数は11月末現在で20人となっています。

今月の表紙



笑顔で「いただきます！」と手を合わせる椎葉富雄さんと孫の敦陽君4歳（湯前町）。今回、人吉球磨の広報担当者で、郷土の家庭料理について合同特集を行いました。人吉球磨で現在まで受け継がれてきたふるさとの味の魅力と伝承に焦点をあてます。

広報くまむら

急流と鍾乳洞の里「球磨村」

球磨村は熊本県の南部にあります。九州最大の鍾乳洞「球泉洞」や村の中央を球磨川が流れ、眼下に雄大なパノラマが広がる自然豊かな遊びの宝庫です。穏やかに、緩やかに、人と自然が調和した悠久のロマンが、今も受け継がれています。

12月号の目次 - CONTENTS -

エメラルドグリーンウォーク	03
球磨郡市広報紙研究協議会合同特集 家族をつなぐふるさとの味	04-09
Kuma Village Topics	10-13
第64回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	14
新成人の皆さんへ20歳になったら国民年金／税を考える週間	15
未来へ羽ばたく子どもたち	16
第36回全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会最優秀賞作品	17
民生委員・児童委員を紹介します	18
村有住宅入居者を募集します	19
平成28年分確定申告について／110番の日	20
球磨村しごと創生事業通信 Vol.2	21
情報の窓口	22-23
後世に残したいふるさとの味／包括だより	24
陽だまり	25
社協だより	26
球磨村青年団／文芸の広場／戸籍の窓	27
球磨村公民館図書室／1月の乳幼児健診・年金相談会・休日在宅当番医	28
行事予定／編集後記	29
必勝合格祈願ノ旅合格勝ち取りツアー	30

家族をつなぐ ふるさとの味



家族で食卓を囲む川内さん一家（山江村）と郷土の家庭料理（下写真）



この特集は、人吉市・錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町の広報担当者が協力して作りました。

あなたにとつてふるさとの味は何ですか？

人吉球磨地域では、この地域の風土とこの地に住む人たちの知恵で、多くの郷土料理が生まれ、受け継がれてきました。食の多様化が進み、郷土の家庭料理を食べる機会が減った現代、ふるさとの味を守り続けるために、私たちができるることを考えます。

郷土料理と風土

人吉球磨地域は、日本三急流の一つ「球磨川」が流れ、九州山地の山々に囲まれた盆地です。昔からこの地域では、盆地特有の寒暖差の激しい気候を生かして農業が盛んに行われています。産物の種類も豊富。米や小麦のほか、キノコなど

この地では豊かな産物を使つて、栄養バランスや保存方法を考えた多様な郷土料理が作られています。豊

消えつつある郷土料理

昔から伝わる郷土料理ですが、洋食化や外食産業の発展、インスタント食品の普及など、日本の食文化が変わつたことで郷土料理を食べる機会が減少しています。家族で台所に立つことも少なく、ふるさとの味を引き継ぐ機会も減り、何がふるさとの味なのか分から

ない若者も多くなつてきています。

昔から受け継がれる大切なふるさとの味を守るために、私たちができることは何があるのでしょうか？ 次のページから、人吉球磨地域で日ごろから食べられ、受け継がれてきたふるさとの味「郷土の家庭料理」の魅力と伝承に焦点をあて詳しく紹介します。

ふるさとの味 「郷土料理」

「郷土料理」とは、地域の産物を使って独自の調理法で作り、伝承された特別な料理と思う人がほとんどではないでしょうか？しかし、郷土料理は特別な料理だけではありません。昔から家で作り、普段の食卓に並べられた家庭料理も「郷土料理」です。私たちを育てくれた郷土料理は、昔から伝わる大切なふるさとの味なのです。

富にとれる米を使った球磨焼酎もその一つです。

地域特有の食べ物

私たちになじみのある食べ物で、実は人吉球磨でしか食べられないこの地域で海の物を食べるため、保存がくさんあります。その中の一つが「酢だこ」です。近くに海がないこの地域で海効くようにタコを酢漬けにしたもので、今も正月のおせち料理に欠かせません。広範囲にわたる人吉球磨地域では、特徴的な料理や食べ物が地域によって違います。上球磨地域ではブタやイノシシの骨に付いた肉を食べる「骨かじり」がよく食べられます。中球磨地域は、約400年前に活躍した剣豪・丸目藏人佐がくじら鍋を村民に振る舞つたことから今でも「皮クジラ」を料理に使用。下球磨地域は、五木村の「そば料理」や、相良村の「四浦こんにゃく」が有名です。地域全体の郷土料理である「つぼん汁」と「煮しめ」も、各地域で具材や切り方が少しうつ異なります。

一皿に込めた、お母さんたちの知恵と愛情

郷土の家庭料理を作り、伝え続けるふるさとのお母さんたちがいます。



農家民宿「くりの里」
牧山 規矩子さん

牧山さんが取材に合わせ
無添加で温かみのある物を

相良700年の歴史ある人吉球磨で先人たちが独自に作り守ってきた食文化の価値は高いと考えます。地域のお母さんたちの知恵と風土に合った地域の食材でつないできたこの食文化。それが脈々と受け継がれています。地域のお母さんたちの知恵で生まれ伝え続けられた「郷土の家庭料理」。その味には、私たちが元気に育つ力がたっぷり入っています。

農家民宿を営む牧山 規矩子さん（相良村）。村の「食生活改善推進員（※1）」や、「ふるさと食の名人（※2）」として、22年間「食」のボランティア活動を続けています。郷土の食文化が薄れてきていた今、親子や高校生など幅広い年代に料理教室を開き、県内で広く活動している牧山さん。「高度経済成長期から、女性も外で働く時代に。だからこそ、子どものころに料理を教わることができず、郷土の家庭料理を知らないまま育つた人がたくさんいます。そういった人たちに我が家の中味を持つてもいい、子どもたちに振る舞ってほしいです」と活動の背景を話します。

農家民宿を営む牧山 規矩子さん（相良村）。村の「食生活改善推進員（※1）」や、「ふるさと食の名人（※2）」として、22年間「食」のボランティア活動を続けています。郷土の食文化が薄れてきていた今、親子や高校生など幅広い年代に料理教室を開き、県内で広く活動している牧山さん。「高度経済成長期から、女性も外で働く時代に。だからこそ、子どものころに料理を教わることができず、郷土の家庭料理を知らないまま育つた人がたくさんいます。そういった人たちに我が家の中味を持つてもいい、子どもたちに振る舞ってほしいです」と活動の背景を話します。



▲農作業のよけまん（休憩時のおやつ）
にも食べられた「ねったくりだご」



▲地元の食材をふんだんに使い、大きな具材が特徴の「急流煮しめ」

『昔のお母さんはみんなが手に入る時代になりましたが、手作りで温かみのある郷土の家庭料理も食卓に並べてほしいですね』と語る牧山さん。昔からお金を掛けずに、身近にあるもので工夫して作ってきた家庭の味を後生に残しています。

「村の人たちから教えてもらつたことの恩返しとして、素材を生かした昔ながらの田舎料理でお客さんのおもてなしをしていきたいです」。大無田さんは、温かい人柄で家庭料理の味だけではなく、その中に込められた愛情をこれからも伝えていきます。

『昔のお母さんはみんなが手に入る時代になりましたが、手作りで温かみのある郷土の家庭料理も食卓に並べてほしいですね』と語る牧山さん。昔からお金を掛けずに、身近にあるもので工夫して作ってきた家庭の味を後生に残しています。

地元で採れた農産物を使った料理の提供や加工販売を行う「くまむら農産加工グループあじさい」。会長の大無田トミ子さん（球磨村）は、「ふるさと食の名人（※2）」としても郷土料理の普及と継承に貢献しています。

幼少期から料理に興味があつた大無田さんは、大人たちの会話を聞いて料理の作り方を習得。その後就職し食材宅配をしていたときに、配達先の地元の方に教えてもらった家庭の味が大無田さんの料理の原点になっています。



くまむら農産加工グループあじさい
会長 大無田 トミ子さん

『昔のお母さんはみんなが手に入る時代になりましたが、手作りで温かみのある郷土の家庭料理も食卓に並べてほしいですね』と語る牧山さん。昔からお金を掛けずに、身近にあるもので工夫して作ってきた家庭の味を後生に残しています。

「村の人たちから教えてもらつたことの恩返しとして、素材を生かした昔ながらの田舎料理でお客さんのおもてなしをしていきたいです」。大無田さんは、温かい人柄で家庭料理の味だけではなく、その中に込められた愛情をこれからも伝えていきます。

※1 「食」を通して健康づくりを推進するボランティア。

※2 郷土料理などについて知識や経験を持ち、伝承活動などに取り組む県が認定する人。

ふるさとの食の味力

先人たちの知恵で生まれ伝え続けられた「郷土の家庭料理」。その味には、私たちが元気に育つ力がたっぷり入っています。

INTERVIEW

人吉球磨の伝統食を伝え広める本田さんに郷土の家庭料理の魅力を聞きました。



郷土の家庭料理 ひまわり亭
代表 本田 節さん

昭和29年生まれ。球磨郡相良村の農家で育つ。人吉高校卒業後、地元の農協に就職。結婚後、3人の娘を育てながら夫の建築設計事務所をサポート。現在は、農家レストラン「郷土の家庭料理ひまわり亭」の代表を務める傍ら、食を通したまちづくりアドバイザーとして全国を飛び回っている。

祈りを込めた食文化

相良700年の歴史ある人吉球磨で先人たちが独自に作り守ってきた食文化の価値は高いと考えます。地域のお母さんたちの知恵と風土に合った地域の食材でつないできたこの食文化。それが脈々と受け継がれています。地域のお母さん吉球磨は祈りの文化が深い地域。この地域は、子どもを思い作つたおやつなど、相手を思つて作られた料理が多いことが特徴です。成長を願つて作られた「あん入りちまき」は、すくすくと伸びる竹のように長く作られていて、包装

にも竹の皮が使われています。全ての食に祈りが込められていて、人吉球磨の根底に祈りがあることを物語っています。

店では食べられない郷土食

熊本地震で、当たり前の食卓の大切さにあらためて気付かされました。食卓を囲んだコミュニケーションがとても重要なため。食事は、誰と食べるのかということがとても大切です。自分の愛する家族や仲間と囲む食卓には会話があり、作った人の思いが込められた料理が並ぶ。その霧廻気と思いが食として体に入り、血や肉になるのです。

郷土料理を見直す

昔は晴れの日にはごちそうを作つていましたが、普段の食事は質素でした。今は食事が豊か過ぎて、がんや糖尿病などの生活習慣病になる人が増

い」と思える理由です。

昔は晴れの日にはごちそうを作つていましたが、普段の食事は質素でした。今は食事が豊か過ぎて、がんや糖尿病などの生活習慣病になる人が増

地元を離れ「ばあちゃんが作つてくれたまぜ飯はおいしいかった」「お盆には煮しめがあつて、正月には酢だこがあつた」など思い返すことがあります。

地元を離れ「ばあちゃんが作つてくれたまぜ飯はおいしいかった」「お盆には煮しめがあつて、正月には酢だこがあつた」など思い返すことがあります。

地域のつながりが強かつた昔と違い、今は人のつながりが疎遠になっています。郷土料理は家庭や地域への愛情そのもので、お店で食べることはできません。家族愛や地域愛、人間愛、そういうものが家庭の食卓の中にはあります。それが質素であつても「おいしい」と思える理由です。

昔と違い、今は人のつながりが疎遠になっています。郷土料理も受け継がれるとが難しくなってきました。

そこで、先人が作った家庭料理を記録に残しながら次世代に伝えていく活動をしていま

す。食文化は、昔ながらの家庭料理の良さに新時代のライフスタイルに合つたものを少しずつプラスしていくかないと伝わっていきます。ふるさとの中の味を若い世代につなげる学習会を、これからもどんどん企画していくとい

ります。

地域のつながりが強かつた昔と違い、今は人のつながりが疎遠になっています。郷土料理も受け継がれるとが難しくなってきました。

そこで、先人が作った家庭料理を記録に残しながら次世代に伝えていく活動をしていま

す。食文化は、昔ながらの家庭料理の良さに新時代のライフスタイルに合つたものを少しずつプラスしていくかないと伝わっていきます。ふるさとの中の味を若い世代につなげる学習会を、これからもどんどん企画していくとい

ります。



一緒に料理を楽しむ柿山順子さんと孫の千里さん（多良木町）

かきやまじゅんこ
ちり

一緒に料理を楽しむ柿山順子さんと孫の千里さん（多良木町）

人吉球磨の家庭料理のレシピ本販売中！

人吉球磨 肥後さがら路のおごちそう

販売場所 清藤書店（人吉市五日町5）、
町屋ギャラリー立山（人吉市中青井町311）、樹想館（人吉市鶴田町31-6）

料金 800円
問合せ ふるさとの食 指南書作成委員会
会長 山上 日出世さん（☎23-5576）



ムラのかあさん レシピ集

販売場所 ひまわり亭（人吉市矢黒町1880-2）
料金 1,000円
問合せ 郡土の家庭料理 ひまわり亭（☎22-1044）



「ふるさとの良さ」を実感

同高校の生活経営科では、「故郷の味を再発見」を目標に郷土料理の授業を年10回以上実施。同科の3年生22人は「くまもとふるさと食の名人」の本村イサ子さん（あさぎり町）から料理を習っています。

9月12日に行われた実習の献立は、山菜おこわとつばん汁、切り干し大根の酢の物、ねつたんぽ、あん入りちまきの5品。テーブルには、山菜やニンジン、カボスなど色とりどりの地元

住のプロの育成に取り組んでいます。「食」の分野では「郷土料理講習会」の授業化や地域野菜、シカ・イノシシ肉を使つた商品開発、マーケティングなどさまざまな取り組みに挑戦しています。

衣食住のプロを育成

あさぎり町の県立南稜高校では、本年度から文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」の指定を受け、社会の第一線で活躍する衣食住のプロの育成に取り組んでいます。「食」の分野では「郷土料理講習会」の授業化や地域野菜、シカ・イノシシ肉を使つた商品開発、マーケティングなどさまざまな取り組みに挑戦しています。

衣食住のプロを育成

食材が並びました。
「山菜おこわは、みりんの代わりに赤酒を使って仕上げる」「球磨地方では端午の節句に、子どもがすくと育つようにあん入りのちまきを作る」「タケノコの皮は抗菌作用があり、包装紙代わりに使う」。

本村さんは笑顔を交えながら生徒に先人の知恵を伝授。生徒たちは、本村さんの話や手つきからふるさとの味を学びました。作った料理は、本村さんと生徒たちと一緒に料理の出来を話しながら食べました。



くまもとふるさと食の名人
本村 イサ子さん

地元の「宝」を大切にしてほしい

私は農家の家に生まれ、農作業をしながらその農産物を使つた料理を作り続けてきました。今は自宅で米麹やユズなどを使つた加工品を手がけ、地元の物産館にも出品しています。

郷土料理を通して生徒の皆さんに「地元にある財産」を知つてほしいと思い、10年以上前から南稜高校の生徒に料理を教えています。実習後に生徒たちからイラスト入りの感想文をもらいますが、「ふるさとにはこんな料理もあるんだよ」と料理を伝えてくれたらうれしいです。

INTERVIEW 郡土の家庭料理を教える本村さんと教わった高校生に話を聞きました。

進路はそれぞれだと思いますが、どこに行つてもふるさとを大切にしてほしいですね。将来子どもができたとき、「ふるさとにはこんな料理もあるんだよ」と料理を伝えて感じています。

進路はそれぞれだと思いますが、どこに行つてもふるさとを大切にしてほしいですね。将来子どもができたとき、「ふるさとにはこんな料理もあるんだよ」と料理を伝えてくれたらうれしいです。



南稜高校生活経営科3年
荒川 莲菜さん（あさぎり町）

郷土料理を勉強して母と一緒にお菓子作りをしていて料理に興味を持つようになりました。保育園のところから母や祖母に料理を教わり、小学校5年生のときは母が仕事で遅くなるときは夕食を作っていました。初めは上手に作れませんでしたが、「おいしい」と言われるのがうれしくてさらに料理好きになりました。

高校卒業後は愛知県で調理関係の仕事に就きます。将来はお菓子屋さんとして自分の店を持つのが目標です。今日作った「つばん汁」は家族みんな大好き。ふるさとを離れますますが今回の実習を通して、昔から受け継がれる郷土料理をしつかり勉強し、次の世代につなげたいと思います。

みらい ふるさとの食の味来

深い愛情が込められた郷土料理を未来に残すため、郷土愛を育むために南稜高校で取り組まれている授業を紹介します。



▲本村さんが料理の技を生徒に伝授

笑いと感動に包まれた1日

かわせみ感謝祭



迫真の演技を披露する劇団とんぼ座

かわせみ感謝祭が11月23日、一勝地温泉かわせみで開催され、村の特産品や農産物などの販売の他、熊本市内の学生を中心としたサークル「肥後真狗舞」によるYOSAKOIの披露や「劇団とんぼ座」による舞踊公演が行われ、多くの人で賑わいました。

昼・夜の2回行われた劇団とんぼ座の舞踊公演では、俳優の片岡鶴太郎さんの姪にあたる山崎卑弥呼座長を中心に、お面や扇子などを使った華麗な舞いや、観客を巻き込んだ迫真の演技を披露し、会場は終始、笑いと感動に包まれていました。

日々の学習の成果を堂々と発表

渡小学校学習発表会



芦北町で体験したペーロンを再現

渡小学校学習発表会が11月27日、同校体育館で開催され、1年生から6年生までの児童が、合奏や合唱、演劇などを披露しました。

5年生の発表・劇「5年の学び～水俣病・集団宿泊版～」では、水俣病について学習したことなどを発表。「今でも水俣病はうつる病気だと誤解し、差別や偏見を持つ人たちがいる。水俣病のことを学習した私たちがそれを知らない人たちに伝えていきたい」と話しました。

また、集団宿泊で体験したペーロンの動きを再現し、皆で息を合わせることの大切さを発表しました。

竹林を活用した6次産業化へ向けて

高沢校区活性化実行委員会講演会

高沢校区活性化実行委員会では、現在、高沢地域の豊富な竹林資源を生かし、タケノコの生産から加工、販売までを一体的に行う6次産業化に向けた取り組みを進めています。これを受け、11月19日、高沢説教所で(株)地域総研の佐藤和弘さんを講師に招き「住民自ら考え行動する地域づくり」と題した講演会が開催され、地域住民が参加しました。講演会では、地域の特産品開発や組織づくりの流れなど他市町村の優良事例を紹介。参加者は地域の活性化・6次産業化について理解を深めました。



講師の話を真剣に聞く参加者

子どもたちの未来のために

家庭教育講演会



多くの参加があつた講演会

家庭教育講演会が11月17日、球磨村コミュニティセンター清流館で開催され、村内小中学校の教諭や保護者などが参加しました。

講師は球磨教育事務所スクールカウンセラーの前村ゆかりさんが務め「子どものサインへの理解と対応」と題した講演を行いました。前村さんからは、自身の幼少期の体験談などを交え「不安やストレスは子どもたちが成長していく上で大切な存在。ストレスに出会い、乗り越え方を知ることが子どもたちの未来への安心につながる」などの話がありました。

お仕事いつもご苦労さまです

村内保育園児から心温まるプレゼント

渡保育園
こがね保育園

保育園児からのプレゼントを受け取る内布副村長

11月23日の勤労感謝の日を前に、渡保育園と、こがね保育園の園児が役場を訪れ、手作りの品物や野菜をプレゼントしました。

こがね保育園児からは、1月～12月までの季節に応じた貼り絵の手作りカレンダー、渡保育園児からは、園内の畠で採れた白菜やだいこんなどの新鮮野菜や手作りの文房具入れなどが内布副村長に手渡されました。

園児からは「いつもお仕事ご苦労さまです」というかわいらしき言葉と品物とともに、温かい「こころ」のプレゼントをいただきました。

一つの的に精神を集中

第27回球磨村弓道大会

神瀬住吉神社の大祭に合わせ、第27回球磨村弓道大会が11月12日、高音弓道場で開催され、人吉球磨の他、水俣市、八代市、遠くは鹿児島県姶良市などから32人が参加しました。

大会では、宮本宣彦練士6段により、行射の儀式である矢渡しが行われた後、個人競技（4矢5立）が行われ、選手は真剣な眼差しで的に向かい、優勝を競いました。競技は、一進一退の熱戦が展開され、20射中15本を的中させた徳澄俊之助さん（人吉市）が優勝を飾りました。



精神を集中させたを狙う選手

人吉球磨産の木材をふんだんに使用

特急「かわせみ やませみ」木材贈呈式

来春に肥薩線で運行を開始する観光列車「かわせみ やませみ」の車両内装に人吉球磨産の木材が使用されることに伴い、木材贈呈式が11月9日、人吉鉄道ミュージアムMOZOKAで行われ、柳詰村長はじめ沿線自治体首長などの関係者が出席しました。

贈呈式では、球磨地域林業振興・木材需要促進対策協議会からJR九州の青柳俊彦社長に木材の目録が手渡されました。贈呈された木材は、樹齢80年ほどのヒノキで、車両内装の家具やテーブルなどに使用されます。



車両内装の説明をする工業デザイナーの水戸岡銳治さん

商品化へ向けた取り組み

そば料理内覧会・そばカフェ



そば料理を真剣に審査する関係者

松谷棚田産の新そばを使ったそば料理内覧会が12月15日、田舎の体験交流館さんがうらで開催され、球磨地域振興局やアグリビジネスセンター、さんがうら運営委員会、松谷棚田保存会などの関係者13人が商品化へ向けたそば料理の内覧・試食を行いました。

内覧会では、関係者がそばピザやそば豆腐など15品の味や見た目などを審査しました。引き続き行われたそばカフェでは、一般客を対象にアンケート調査を実施。さんがうらでは、今回の審査・アンケート結果をもとに今後の販売や提供方法などを研究していきます。

クリ生産の普及・拡大へ

球磨村くり技術指導員認定式



柳詰村長による認定書の授与

球磨村くり技術指導員認定式が12月20日、役場村長室で行われ、大無田光幸さん（大無田）と田中浩章さん（茶屋）が、くり技術指導員に認定されました。

大無田さんと田中さんは、球磨村果樹研究会からの推薦を受け、球磨農業研究所や県農業普及振興課の養成研修を受講。クリに対する基礎的な知識や技術を習得し、今回の認定に至りました。大無田さんは「剪定技術を磨き、より良いクリを作っていくたい」田中さんは「球磨村のクリを全国に広めていきたい」と抱負を語りました。

最後まであきらめず力走

小学校持久走大会

小学校の持久走大会が12月8日、朝霧が立ち込める中、球磨村総合運動公園で開催され、児童たちは懸命な走りを見せました。

大会は、1・2年生が1km、3・4年生が1.5km、5・6年生が2kmの周回コースで行われました。児童たちは、多くの保護者や他学年からの応援を受け、白い息を吐きながら最後まであきらめない走りを見せました。講評では、渡小の松岡校長が「長距離は自分との闘い。走ることを生活の中に取り込み、寒さに負けない強い心と体をつくってください」と話しました。



霧が立ち込める中、懸命に走る児童

防災力向上のための課題解決へ

村民防災会議本部会議

村民防災会議本部会議が12月8日、球磨村コミュニティセンター清流館で開催され、区長や各団体の関係者など約40人が出席しました。

今回の本部会議では、地域ごとにブロック分けした村民防災会議ブロック会議では解決できない防災上の問題の解決や防災力向上のために何ができるかなどを話し合いました。参加者からは、「急傾斜地域では、避難すること自体が危険である」などの意見が出ました。今後は、第1ブロック（渡地区）をモデルに3カ年計画で地区タイムラインの策定が進められる予定です。



各団体の立場から課題を出し合う参加者

人権への理解を深める

球磨中学校人権集会



自分が考える「人権」について発表する生徒たち

球磨中学校人権集会が12月5日、同校体育館で開催されました。

生徒会では「球磨中生の人権は守られていると思うかどうか」のアンケート調査を実施しました。その結果、約4分の1の生徒が「まだ守られていないと思う」と回答したことが分かりました。また、各クラスの代表者による人権作文では「人の悪い面ではなく良い面を見つけることが大切」などの発表がありました。生徒たちは日常生活での相手に対する発言や行動の重要性を再認識し、人権についての理解を深めました。

一本のタスキを絆でつなぐ

球磨中持久走大会・駅伝大会



タスキを受け走り出す生徒

球磨中学校の持久走大会と駅伝大会が12月7日、球磨村総合運動公園で開催され、生徒たちは、寒さに負けない熱い走りを見せました。

持久走大会は、3kmの周回コースで行われ、男女それぞれが力走しました。駅伝大会は、3学年のクラス対抗で争われ、6区間18kmを1本のタスキでつなぎました。力走する生徒たちに保護者や先生たちからは熱い応援が送られました。駅伝大会に出場し区間賞を獲得した3年生の坂本真宥君は「高校生になっても今日走った経験を生かしていきたい」と話しました。

村の魅力って何だろう？

熊本県中学校社会科教育研究大会

熊本県中学校社会科教育研究大会が11月29日、人吉球磨地域の中学校で開催され、球磨中学校では3年生のクラスで地理の公開授業が行われました。

「球磨村の魅力をメッセージにして伝えよう」をテーマに、生徒たちは、移住予定者・家族連れ・外国人・若者・老夫婦（高齢者）のそれぞれの目線に立ち、グループごとに村の魅力や観光資源などについて話し合いました。生徒たちからは、「人を呼び込むために、映画館やゲームセンターを作ってはどうか」「自然を生かした施設を作ってはどうか」など活発な意見が出ました。



村の魅力について真剣に話し合う生徒たち

早期の復興を願って

チーム絆が熊本地震復興支援金を寄付

チーム絆・人吉球磨の高澤康成代表が12月1日、役場村長室を訪れ、柳詰村長に熊本地震被災地への義援金を手渡しました。

熊本地震を受け「今こそ人吉球磨が一つに」と掲げ、人吉球磨の中学3年生で結成された軟式野球クラブ「チーム絆・人吉球磨」。8月に開催した中学3年生選抜軟式野球交流大会では、熊本市のチームと交流試合を行いました。その際に集まった義援金を手に高澤代表は「被災地が早く復興してほしい。今回の義援金が少しでも復興の一助になれば」と話しました。



被災地への義援金を柳詰村長へ手渡す高澤代表

新成人の皆さんへ 20歳になったら国民年金

国民年金は、老後やいざという時の生活を現役世代みんなで支えようという考え方で作られた制度です。

○国民年金のポイント

①将来の大きな支えになります

国民年金は、20歳から60歳までの間に被保険者として保険料を納め、65歳から老齢年金を受ける制度です。

国が責任を持って運営するため安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

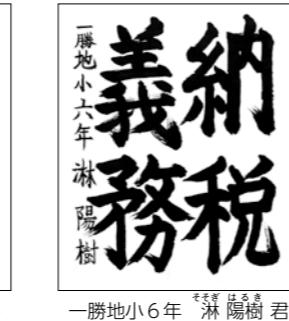
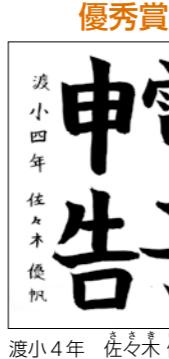
②老後のためだけのものではありません

国民年金には、老齢年金のほか病気やけがで障害が残った場合に受け取れる障害年金や被保険者が亡くなった場合にその人に扶養されている配偶者や子が受け取れる遺族年金があります。



税を考える週間

11月11日～17日は全国一斉の「税を考える週間」でした。これに合わせ、村内の小学校から税に関する59作品（習字）の応募があり、審査の結果、村長賞1点、優秀賞5点が選出され、村長賞には、渡小2年青山仁紀君の作品が選ばれました。



○20歳になる人の国民年金加入手続

①「国民年金被保険者資格取得届」と「国民年金加入対象者調査票」を提出ください

20歳になったら、年金事務所から用紙が届きますので、必要事項を記入し、年金事務所または役場住民福祉課に提出してください。また、保険料の免除や学生納付特例の申請を同時に行うことができます。

②「年金手帳」が届きます

基礎年金番号の確認と年金の加入状況を記録するためのものです。大切に保管してください。

③「国民年金保険料納付書」が届きます

保険料の納付は毎月、金融機関やコンビニのほか、口座振替やクレジットカードでも可能です。

※ 20歳になる前から厚生年金や共済年金に加入している人には、年金手帳や納付書は発送されません。

問い合わせ 八代年金事務所お客さま相談室

☎ 0965(35)6123

住民福祉課住民係 ☎ (32)1112

第64回

球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会



球磨村駅伝チーム

第64回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会が12月18日、錦町役場前をスタート、錦町武道館前をゴールとする8区間52.65kmのコースで行われ、人吉球磨の各市町村から19チームが出場しました。

球磨村チームは、1区の中学生区間で佐々木瑠希選手が区間7位の好走を見せ、チームを勢いづけました。その後、17位まで順位を落としましたが、6区の地下翔太選手が区間賞の力走を見せ、12位まで順位を押し上げました。しかし、最終区では無念の繰上げスタートとなり、最終結果は17位でした。選手たちは、村の代表として最後まであきらめない熱い走りを見せてくれました。球磨村チームの来年の躍進に期待します。



区間賞を受賞した地下選手

監督	8区	7区	6区	5区	4区	3区	2区	1区	選手・監督	17位	3位	2位	優勝	総合順位
松本橋	8 79	川口 1	地下 1	山口 57	浦野 97	坂本 69	浦野 88	佐々木 木生	中学生 生(敬省略)	A	A	A	錦町A	球磨村A
憲吾寿	勝	光國	翔太	珠未 2	祐磨 3	壮喜 4	克喜 5	瑠希 35	監督 希(敬省略)					人吉市A
														あさぎり町A



1区の佐々木選手からタスキを受け取る2区の浦野選手



3区の坂本選手



4区の浦野選手



6区の地下選手



8区の丸橋選手

第36回
全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会
最優秀賞

「私のお兄ちゃん」

球磨中学校3年 松永 優佳さん



私のお兄ちゃんは、障害を持つて産まれてきました。私が小さい時、そんなことは気にしていなかったのですが、小学校高学年になるにつれて、だんだん嫌になりました。普通でない私のお兄ちゃん。それが、どうしても受け入れられませんでした。

ある日、家族全員で、買い物に行きました。そこは、とても大きなショッピングモールで人も多くいました。私はそれが嫌で嫌でしかたありませんでした。周りからの視線。何かさけられるような歩き方。それから私は自分のお兄ちゃんが障害を持つていることを認めたくないと思うようになりました。一緒に買い物に行く時は、必ず別行動。何かお兄ちゃんがしゃべる時は、「だまれっ。」と言い、お兄ちゃんから離れるようになりました。「どうして、私のお兄ちゃんは障害を持っているの。何で普通じゃないの。あんなの私のお兄ちゃんなんかじゃない。」とお母さんに言つたこともあります。周りとは違う、私のお兄ちゃん。少し近づいてきたただけで「来るなっ。」と言つたりもしました。でも、ずっとそういうことをしていたら、お兄ちゃんも私のことをさけるようになりました。最初は、それでいい、と思つていました。だけど、何かそれじゃいけないと思うようになりました。最初は、それでいい、と思つていました。だけど、何かそれじゃいけないと思うようになりました。そして、お兄ちゃんの通

う、養護学校に行つてみると、お兄ちゃんは、周りの人に支えられながら一生懸命に物をつくつたりしていました。私は、初めてその時、お兄ちゃんが一生懸命に何かしていいる姿を見ました。それまで私は、ただ何もできまいお兄ちゃんとしか見ていました。かっていらないんだなと思いました。何も分からぬ、何も知らない。なのに私は、最初から、お兄ちゃんは何もできないと決めつけ、とても傷つけてしまいました。その時、私は今までお兄ちゃんにしてきたことを後悔しました。

相手のことを知らないで、分からぬで、勝手に決めつける。これが差別です。私がお兄ちゃんにしてきたこと。これも立派な差別です。周りと、少し違うだけでさけたり、そこの人のことを批判したり。もし自分が差別される側の人間になつたとします。周りから、さけられ、裏でこそそしやべられたり、私は、堪えられません。でも私は、それと同じことをお兄ちゃんにしてきました。謝つても決して許されることではありません。だから今でもずっと後悔しています。あんなことをしていた自分に腹が立ちます。

しかし、感謝の気持ちもあります。私のお兄ちゃんから学んだことはたくさんあります。まずは、相手をよく知ること。何も知らないで外見だ

けを見て、あの人はこうなんだと決めつけることが差別なんです。人にはいろいろな面があり、個性があります。外見だけで判断せず、相手を理解する努力をしなければいけません。そうすることで、相手を傷つけようなことはありません。そして、コミュニケーションを大切にすることも重要です。相手を思い、心と心のつながりを大切にする。つまり、思い込みをやめようということです。どんな人に対しても思いやりの気持ちを持ち、接することで、差別をなくすことができると思います。

これらを学ぶことができたのは、私のお兄ちゃんを支えてくれた人たちのおかげです。お兄ちゃんがこの世に産まれてきてくれたことに感謝します。

相手がどんな人であろうと、その人の存在を認め、理解し、思いやりの心を持たなければいけません。周りのうわさに流されて、人を差別するようなことはあってはいけません。自分の力で分かろうとすることが必要です。まちがっていることは、「ちがう」と伝え、同じ生きている人間として、支え合っていかなければいけません。

それを教えてくれたお兄ちゃん、そして、支えてくれた人達に感謝して、差別はおかしいことだと伝えていこうと思います。

熊本県発明工夫展 T K U 賞

一勝地小学校6年 ながしい 永椎 そうた 宗太 君

「大人も子どももはけるビックリシューズ」

浮き輪から発想を得たもので、シューズに内臓した袋に空気を吹き込むことで中を圧迫し、大人用の大きな靴を小さい子どもの足でも履けるように工夫した作品。「映画に出てきた、足のサイズに合わせられる靴を自分でも作れないかと思った」と話す永椎君の飽くなき探究心とアイデアが今回の受賞につながりました。



熊本県科学研究物展示会 良賞

一勝地小学校3年生

「バケツの小さな田んぼで稻が育つかな」



写真前左から土肥鉄生君、大瀬珠璃さん、
ながしいみお 永椎未桜さん、後左から板崎麻莉さん、
おおいわじゅうと 大岩燐斗君、坂田佳景君

棚田で育てられる稻の生育に着目し、さまざまな環境でどうイネが育つのか、棚田や畑、運動場の土をバケツに入れ、種もみからの生育を観察。棚田以外の土でもイネは育つことが分かりましたが、長期にわたる子どもたちの努力が実を結び棚田が良質な土壤であることを証明しました。

熊本県がんばる高校生表彰

熊本県が学業やスポーツ、ボランティア活動などで活躍した高校生をたたえる「熊本県がんばる高校生表彰式」が11月18日、ホテル熊本テルサ(熊本市)で行われ、103の個人・団体が蒲島郁夫知事から表彰を受けました。

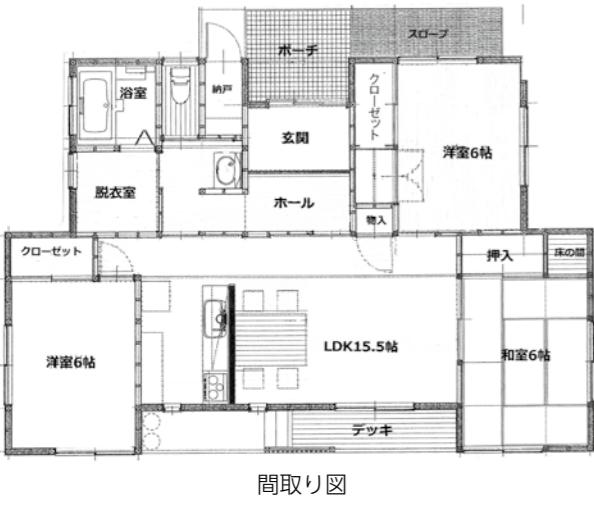
県内各高校から1人ずつ選出され、本村からは、
球磨工業高等学校3年の水篠友哉君と球磨商業高等学校
3年の中村桃華さんなかむら ともかの2人が表彰を受けました。水篠君は、陸上競技での活躍・各種資格取得・
学業で、中村さんは、簿記全国大会での団体入賞・
各種資格取得・学業などが高く評価され、今回の受賞につながりました。3月に卒業を迎える2人。4
月から水篠君は県外に就職。中村さんは、税理士資格取得のために専門学校へと進みます。将来、球磨
村に戻ってくるかまだ分からぬという2人ですが、今後それぞれの道での活躍が期待されます。



県産木材で作られた表彰状を手に笑顔の水篠君と中村さん

村有住宅入居者を募集します

募集目的	『若者が安心して子どもを生み育てる環境づくりを推進し、活力ある地域社会づくりのため』
募集住宅	村有住宅一勝地永崎団地 1号棟、2号棟、3号棟、4号棟
所在地	球磨村大字一勝地丙字永崎地内（球磨中グラウンド隣）（行政区 11 区 柳詰班）
構造	木造平屋（一戸建て）、3LDK、床面積 82.39m ²
募集戸数	4戸
入居開始	平成 29 年 4 月
募集期間	平成 29 年 1 月 16 日（月）～1 月 27 日（金）（ただし、土曜・日曜を除く）
家賃・敷金	家賃 32,000 円／月（公益費を含まない） 敷金 96,000 円（家賃月額の 3 カ月分）
その他	浄化槽維持費、共益費など別途必要
入居資格	①村内外居住者を問わない（村外の場合は入居と同時に住民登録できる人） ②現在同居しているか同居しようとする親族があること。ただし、婚約者（入居日以後 3 カ月以内に結婚できる人）と内縁関係者の同居者を含む ③現在住宅に困っていることが明らかな人 ④国税、地方税、その他の公共料金の滞納がない人 ⑤入居者又は同居親族が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員でないこと ⑥募集目的に沿った家族構成であること
申込方法	①役場総務課にある申込用紙に必要事項を記入し、次の書類を添付して提出してください。 (ア)入居する人すべての市町村発行の平成 28 年度住民課税台帳記載事項証明書か平成 27 年分源泉徴収票の写し (イ)入居する人すべての平成 27 年度、平成 28 年度（現時点）納税証明書 (ウ)家族構成について証明できる住民票謄本、外国人は外国人登録証明書 (エ)内縁関係の場合は勤務先の扶養証明書 (オ)婚約者は媒酌予定者か双方の親の婚約証明書 ②申込者は収入のある世帯主を原則とします。 ※申込用紙は、球磨村ホームページからもダウンロードできます。
入居者の決定	①審査会を開催し、入居者を決定する ②入居者の決定通知は、本人宛に通知する。応募多数の場合は、公開抽選とする
申込先・問い合わせ	総務課管財係 ☎ (32)1111



民生委員・児童委員を紹介します

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人たちであり、「児童委員」を兼ねています。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援を行います。

■新しく委嘱された民生委員・児童委員



岡 潤一郎 委員



下津 明美 委員



松本 正五 委員



清藤 清美 委員



大瀬 豊次 委員



林 エミ子 委員



川内 君子 委員



小川 由美 委員
(主任児童委員)

■あなたの地域の民生委員・児童委員

委員名	担当地区
岡 潤一郎	内布・山口・地下・今村
下津 明美	峯・島田
糸原 絹子	水篠・糸原・立野・境目
小川 公子	小川・舟戸・茶屋・椎屋・千寿園
板崎 茂敏	岡・浦野・板崎・中園・田頭・馬場
松本 正五	池下・淋・大坂間・告・向淋・松本・小谷
橋詰 國弘	橋詰・野々原・中屋・松舟・田代
清藤 清美	中津・黄檗・吐合・日陰・中渡・岳本・黑白
松江 実子	友尻・宮園・柳詰
大瀬 豊次	毎床・俣口・茂田・遠原
林 エミ子	松谷・那良・那良口
原 和彦	大無田・大久保・千津・鶴口
大瀬 幸信	部・和田・堤岩戸・神瀬一区・神瀬二区・大瀬
川内 君子	木屋角・上原・松野・四蔵・永椎・日当・大岩
大槻 京子	飯瀬・伊高瀬・上部・多武除・楮木・川島
高沢 益雄	高沢・坂口・沢見・蔵谷・横井・大槻
東 さゆり	主任児童委員
小川 由美	主任児童委員

(問い合わせ) 住民福祉課福祉係 ☎ (32)1112

球磨村しごと創生交付金事業が採択されました！

球磨村しごと創生事業では、村内事業者などによる新たな事業への参入や事業拡大に対して財政的な支援を行うため、球磨村しごと創生交付金を交付することとしています。

この交付金に、これまで9つの事業申請があり、球磨村しごと創生協議会での審査を経て、8つの事業が交付金事業として採択されました。

今回は、球磨村しごと創生交付金事業として採択された8つの事業を紹介します。

①木質バイオマス実用化事業（球磨村森林組合）

村内の木質バイオマスボイラーに木質バイオマス燃料を運搬・供給する事業です。

②清流を活用した産業創出事業（株式会社球磨村ふるさと振興公社）

黒白地区で行われていたヤマメ・マスの養殖を復活させる事業です。

③「日本の棚田百選」耕作推進事業（田舎の体験交流館さんがうら運営委員会）

棚田での耕作や耕作支援、収穫した棚田米の販売、棚田オーナー制度による交流などを行いながら、棚田を保全する事業です。

④福祉有償運送事業（球磨村社会福祉協議会）

高齢者や身体障害者などが利用できる福祉有償運送を実施する事業です。

⑤健康・福祉の里づくり拠点事業（球磨村社会福祉協議会）

高齢者などができる限り長く元気に、住み慣れた自宅や地域で暮らせるよう、健康・福祉の里づくり拠点を整備する事業です。

⑥買物支援事業（球磨村商工会）

日常の買物の不便さを解消するため、買物支援を実施するための調査・研究を行う事業です。

⑦人と森を育て水を育む事業（株式会社ランドアース）

ラフティングに従事する若者が、冬季に植林・造林を行う事業です。

⑧挿木苗生産事業（たかおと林業研究グループ）

植林に使う挿木苗を村内で生産できるよう技術・態勢を整える事業です。



①保管庫で搬出を待つバーカー(樹皮)

②復活のための整備が進む養魚場

③試験栽培中の挿木苗(スギ)

球磨村しごと創生事業では「起業してみたい」「事業を拡大したい」という事業者などに対し、専門家による相談支援や初期投資などに対する財政的な支援などを行っています。まずは、企画振興課企画広報係までお問い合わせください。

問い合わせ 企画振興課企画広報係 ☎ (32)1114

平成28年分確定申告について

申告相談会場などのご案内

税務署が開設する申告相談会場および税理士会による確定申告無料相談会場は、次のとおりです。

なお、申告書は会場内で作成・提出することができますが、国税庁ホームページで作成し、e-Taxによる送信または印刷して郵送などにより提出することができますので、ぜひご利用ください。

【税務署が開設する申告相談会場】

開設場所 人吉税務署

開設期間 平成29年2月16日(木)～3月15日(水)(ただし、土曜・日曜を除く)

受付時間 午前9時～午後4時まで

※駐車場には限りがあり、混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※申告期限間際になりますと申告会場が混み合うことが予想されますので、早めの申告にご協力をお願いします。

平成28年分の確定申告書などには個人番号の記載が必要です

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に伴い、平成28年分の確定申告書などにはマイナンバー(個人番号)の記載が必要となりました。

なお、マイナンバー(個人番号)を記載した確定申告書などを税務署へ提出する際には、申告する本人の本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

【本人確認を行うときに使用する書類の例】

例1：マイナンバーカード(個人番号カード)の表面および裏面の写し(番号確認と身元確認書類)

例2：通知カードの写し(番号確認書類)＋運転免許証または公的医療保険の被保険者証の写し(身元確認書類)など

問い合わせ 人吉税務署 ☎ (23)2311

110番の日



○110番の日とは

昭和61年から1月10日は「110番の日」と定め、全国一斉に110番をはじめ、各種警察通報制度に関する広報を行っています。

○110番は「緊急の通報用」の電話です

- ・事件・事故などの緊急時に使用してください。いたずら電話は絶対にやめてください。
- ・相談事など急ぎの要件でない場合は、警察相談電話(#9110)または最寄りの警察署に電話してください([#9110]は、プッシュホン回線しか使えません。ダイヤル式の電話からは「☎ 096(383)9110」に電話してください)。

○110番する時は

- ・なにが(事件か事故か)、いつ(何時ころ)、どこで(発生場所、発生場所の目標)などを落ち着いて話してください。その他、必要なことについては係員がお尋ねします。
- ・早期の事件・事故の解決のため、事件・事故が発生したら、直ちに通報してください。
- ・110番通報は、どの地域からでも全て警察本部につながります。目標物がない場合は、付近に設置してある電柱番号をお知らせください。

お知らせ

いきいき元気栄養教室

いきいき元気栄養教室を開催します。

実施日 ①平成29年1月16日(月)
②平成29年1月23日(月)

時間 ①午前10時～午後2時
②午前9時～午後2時

場所 神瀬福祉センターたかおと

内容 栄養のバランスを考えた食事づくり、軽い運動

参加費 無料

持参物 エプロン・タオル・飲み物

申込締切 1月10日(火)

申込先・問い合わせ 住民福祉課福祉係

☎(32)1112

※ふれあいサロンスタッフにもお尋ねください。

「いきいき、健康塾」

いきいき、健康塾を開催します。

実施日 ①平成29年1月23日(月)
②平成29年1月30日(月)

時間 午前10時30分～午前11時30分

場所 ①球磨村コミュニティセンターラー清流館

②神瀬福祉センターたかおと

サークリットチャエアエクササイズ

参加費 無料

年始も通常どおり運行します。

○球磨村コミュニティバス

12月27日(火)～平成29年1月4日(水)

※人吉神瀬線（国道沿線）は年末の届出については、休業日も受け付けます。

○球磨村診療所

12月29日(木)～平成29年1月3日(火)

※1月4日(水)は一勝地のみで診療

○球磨川歯科医院

12月30日(金)～平成29年1月3日(火)

※平成29年1月1日(日)は午前10時～午後3時まで営業

○一勝地駅

12月29日(木)～12月31日(土)～平成29年1月2日(日)

※平成29年1月1日(日)は午前10時～午後3時まで営業

○第5回奥球磨ロードレース大会開催に伴う交通規制

大会の開催に伴い、次のとおり交通規制を行いますので、皆さんのご

協力をお願いします。

期日 平成29年1月15日(日)

規制時間 ①午前9時10分～正午頃
②午前10時50分～午前11時30分頃
③午前10時50分～正午頃

規制場所 ①国道388号線（水上村役場～岩野小学校交差点）
②県道43号線（湯前町役場～国道219号）

○役場窓口業務

12月29日(木)～平成29年1月3日(火)

※死亡・出生・婚姻届などの戸籍の届出については、休業日も受け付けます。

募 集

球磨村奨学金募集

能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な人に学資を貸与します。

資格 本村に3年以上在住する人の子で、高等学校やこれと同等以上の学校に在学し、学業成績が優秀で素行などに問題のない人であり、学資の支払いが困難であると認められる人

在学者と入学予定者ともに現在在学している学校長の推薦が必要で申請方法

花の種子を支給します

くまもと緑・景観協働機構では、公共用地などで花いっぱい運動を行う団体に対し、花の種子・球根・苗を無償で支給する支援を行っています。今回は、春まき・春植えの募集を行います。花はコスモス・サルビア・ひまわり・マツバボタン・グラジオラス・マーガレット・四季咲きナデシコ・マツバギクなどから選べます。詳しくは、お気軽にお尋ねください。

※植栽・管理に必要な道具・肥料の支給はありませんので、ご注意ください。

※申請書・植栽予定地の写真を提出する必要がありますので、早めの申込をお願いします。

申込締切 平成29年1月10日(火)

申込先・問い合わせ

わくわく!パレアフェスタの開催に伴う参加者の募集

熊本県立高等技術専門学校

096(378)0121

経費 テキスト代5400円程度（税抜）

問い合わせ

熊本県立高等技術専門学校

096(378)0121

参加費

熊本県生涯学習推進センター

096(355)4312

申込先・問い合わせ

熊本県生涯学習推進センター

096(355)4312

各種機関年末年始の休業日程

持参物 室内シユーズ・タオル・飲み物

問い合わせ 住民福祉課地域包括支援係

協力をお願いします。

期日 平成29年1月15日(日)

規制時間 ①午前9時10分～正午頃
②午前10時50分～午前11時30分頃
③午前10時50分～正午頃

規制場所 ①国道388号線（水上村役場～岩野小学校交差点）
②県道43号線（湯前町役場～国道219号）

規制内容 全面通行止め

問い合わせ 奥球磨ロードレース大会実行委員会

事務局（水上村教育委員会内）

規制時間 ①午前1時30分～午後4時30分

規制場所 役場や自宅

問い合わせ 保健師が相談に応じます。

期日 平成29年1月19日(木)

時間 午後1時30分～午後4時30分

規制内容 保健師が相談に応じます。

申込先・問い合わせ 保健師が相談に応じます。

平成29年1月15日(日)

行程

8:20

一勝地駅集合・散策

8:30

開会式
『入場券・砂ita』 プレゼント

9:00

一勝地回蘇神社『祈願』

10:00

一勝地温泉かわせみ『呪縛』
&『入浴券』プレゼント

10:20

一勝茶屋 tea time
『勝万』を食す

10:50

一勝寺『座禅体験』

12:00

一勝地駅・閉会式



必勝合格祈願旅

合格勝ち取りツアー

- 「球磨村観光案内人の会」による観光ガイド付き!
- 学生服の無料貸し出しあります
- 一勝地駅～一勝地温泉かわせみまでの散策ツアーとなります。

参加料：500円

締切：平成29年1月12日（木）

申込：下記電話・FAX・メールにて

※氏名・連絡先・年齢を添えての申込をお願いします。

